

# 令和4年度第22回ゲーム部会

令和5年1月27日(金)  
三鷹市立第六小学校

参加者：吉田 川西 澤 隈部 西山 楠原 斎藤 捧 佐藤 加藤 安藤 勝沼 渡邊 森 庄子 小峯  
長坂 宮部 阿部 植村 中倉 川田 岸田 穴田 小川 堀内 瀬端

## 0. はじめに

### 運動遊びについて

今回1年生の運動遊びについて考えてきているが、改めて確認。  
ゲームは遊びから“派生”しているものであって、遊びとは違う。  
指導者が意図をもって指導に当たったり、時間(時数)に制限があったりしているものが運動遊び。  
また、はじめの規則がとても大切。簡単でも難しくても△  
とにかくまずは、ゲームに夢中になることが何よりも大切。

## 1. ボール蹴りゲームの進捗状況から

### ●はじめの規則の確認

### ●先行授業を見ていて感じたこと

蹴る力がまだ弱い発達段階であり、的が動かないかもしれないと不安。  
また、的を軽く、小さくしてしまうと、風で跳んでしまうというデメリットもある。

### ●検討

#### ・1ゲーム前後半にするのはどうか？

→話し合いタイムは入れない。

試合時間を長くする。

的は戻す。

得点はフープに紅白玉を入れる。

これで取り組み、次回の部会で報告。

#### ・的

→的の数を増やし、子供の数より多くする。

的は大きさを変え、それぞれのレベルに応じた的を狙えるようにする。

(話し合いの場面が生まれる)

的は高さを出すと危険性が上がるので、高さは出さない。あくまでも押し合い。

#### ・チーム、コート

→8チームで4コート(4対4か4対3)で、的は1コートに4つ

子供たちとの合意形成でその後の規則は変えていく。

#### ・ボール

→重い方で行う。

・蹴った後のボール

→確定させないことで、今後の子供たちとの話し合いにつながる。

●ゲームにつながる運動

- ・ゲームのみでもよいのでは？
- ・壁に向かってボールを蹴る。
- ・ボールを足で止めたり、おしりで止めたりなど、ボールに慣れさせる。
- ・感覚をつかむために、運動は入れた方がよい。
- ・2人1組で、一人はトンネル 一人がボールをトンネルに蹴り、反対側に取りに行く

案を参考にして、実践後、再度提案。

子供たちと合意形成を図り、より良い、より楽しい授業を作っていく！

2. 提案・プレゼンの検討

現在6分程度。内容を精査して削る。

3. 今後の予定

今回は2月9日（木）18時半より @三鷹市立第六小学校

授業の進捗、提案・プレゼンの確認、来年度に向けて

区部・多摩地区発表は2月17日（金）

3月に一回部会を開き、最後となる。

文責：瀬端（中央区立佃島小学校）